

第17回市民ふれあいトーク―地域力を活かすまちづくり―

日時 平成22年9月7日 18:30~20:00

場所 本荘公民館

要約版

〈市長〉

今日は台風9号の接近しております中、雨風が強くなってきましたら、事前に連絡をして延期した方がいいかと心配をしていました。雨風が強くなってくようでしたら早めに終わることも考えながらみなさんのご意見の様子などを伺いながら進めたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。

今、平成22年の9月ということですが、今年は猛暑になっておりまして、農業の方にも非常に心配をしているわけですが、倉敷市全般といたしましては、昨年一昨年と景気が非常に厳しい状況でございました。もちろん今も非常に厳しいことには変わりはないわけですが、この中で少しでももっと観光客の方が、児島や倉敷市に来ていただけることを考えていきたいと思っておりますし、ぜひ今日みなさまからお知恵を拝借したいと思っております。

児島の地域での大きなことですが、一つには児島の駅の前、架橋記念館の横にあります公民館、架橋記念館、働く婦人の家など全体的に古くなっておりまして児島の地域の公共の施設を統合いたしまして、児島市民交流センターを今建設している所でございます。

児島の駅前の広場が昨年の4月に綺麗にすることができました。実は児島の駅前の広場は、岡山県内で、倉敷駅よりも広くて一番が岡山駅前、二番が児島の駅前となっております。そして三番が確か倉敷駅でその次が新倉敷の駅だったと思います。ですので、県内で2番目に大きな非常に立派な駅前の広場・公園となっております。そこをきっかけといたしまして、架橋記念館の地域に渡る所につきまして、児島の駅前の所から市民のみなさんや児島地域全体のみなさんが集まっていたきやすいものとして今計画をしております。今年度にまず建物の工事がなんとか済むようにという思いで頑張っております。ただ、まだ外の工事や内装の工事がありますので、来年度の途中くらいまでかかると思っておりますので、実際のオープンは23年度の途中くらいになってしまうと思っております。

地域のみなさんとお話して思っているのは、ジーンズのまち児島の特色のようなものを、ぜひ市民交流センターの中でも出せないかと今いろいろアイデアを考えている状況です。児島の今度の市民交流センターには1階に大きく図書館を配置することになっております。実はこれまでの児島図書館はなぜだか分からないんですけど、市内の玉島や水島の図書館と比べて本の数が確か約3割位少ない収納になっておりました。収納していく面積の関係もあると思うんですが、本を出しにくい状況になっておりましたので、1階と2階と一番メインの所に図書館を配置して、来ていただきやすい、明るい図書館にしていきたいと思っております。

それから、晴れの国の倉敷市ということですので、太陽光発電を導入して行こうと思っております。周りもなるべく芝生を使って、この温暖化の時代にも対応していけるようにしているのが一つの大きなことです。

大きく児島の地域のことは、トライアスロンを来年、市の行事として検討を行っている所です。みなさんに本当にお世話になりまして、商工会議所のみなさんが中心となって10回まで続けてきてくださいましたトライアスロンでございますが、一端終了す

ることになり、その後倉敷市の中でも大変トライアスロンの復活を望む声大きいような状況にありました。その声を踏まえまして来年これが復活といいますか、今までは児島の行事であったと思いますけど、今度からは倉敷市全体の行事として、また、全国から人が来ていただけるものにできたらいいと思っておりますのが一つ。

それから児島にある倉敷市の大切な短期大学ですけれども、倉敷市内には10個の大学がございます。大学・短期大学・玉島の職業能力開発大学校があります。この大学の知識・経験をぜひ活かしていきたいということで、大学のそれぞれの先生方が一押しの講座を、ライフパーク倉敷で倉敷市全体の公民館の中で、まず今年は倉敷市内の大学がこれだけいいものがあることを市民のみなさんに知っていただけるような大学連携講座を始めたのが今年からでございます。今度7月に一回、10の大学から来ていただいて行いまして、10月の秋に行っていく予定になっております。広報紙などでぜひ受講していただける方を募集している所です。

そして今後ますますみなさんと一緒に頑張っていきたいと思っておりますのは、児島の繊維産業を中心としたジーンズのまち、セーラー服を始めとする学生服のまち、繊維のまちということです。もう一つにはやはり観光をしっかり進めていきたいと思っております。瀬戸大橋の料金も昔に比べ今の所安いわけですが、今後どうなるか国の方策も何となく不透明な部分もあります。それと鷲羽山、王子が岳の景観、来ていただきやすい整備を行っていく必要があると思っております。昭和9年に日本で初めて霧島・雲仙と共に選ばれました国立公園ですので、もっと倉敷市の観光の大きな拠点にしていきたいと思っております、その面のアイデアなどもみなさまからお話をお伺いしたいと思っております。

もう一つ倉敷の地区の大きなことですが、先日発表がありました、倉敷駅前のチボリ公園跡地の大体の方向が見えてきたというのがございます。一昨年末にチボリ公園が閉園をしまして、閉園直前にはだいたい100万人くらいの方が来てくださっていました。閉園をしまして、去年、今年と非常に観光客の方が減っていたんですが、地主のクラブハウスの大変なご協力もありまして、来年の年末近くにはオープンできると伺っております。中四国で初めての三井不動産によるアウトレットモールが来ることになりました。それからイトーヨーカドーさんがショッピングモールを開発されることになっておりまして、今伺っている所で、約800万人位の方が一年間で来られるのではないかと聞いております。もちろん、倉敷市内からだけではなく近県から中四国地方から来られるんじゃないかと思っております。この方たちを何とか倉敷の駅の北の所で買い物だけではなくて、児島の地域に観光に来てもらいたい、玉島にも行って桃を買ってもらいたいとか、そういうことをぜひ進めていきたいと思っております。そういう面で何かいいアイデアがありましたら教えていただきたいと思っております。

今の倉敷市ですが、財政状況厳しい中ではございますが、何とかやっていっている状況でございます。みなさまが元気に地域でご活躍をしていただいて、いい活動がぜひ市内の他の地域でも取り入れられて、市が全体的に活気付いていけばいいと思っておりますので、ぜひ今日はご意見がありましたら、こういう活動をしているよというのも含めてお話をいただければと思っております。

《参加者Aさん》

先日支所の産業課へ池が汚れているので、池の掃除をお願いに行きました。毎年掃除を

してもらっているので掃除はしてくれるんですけど、水を綺麗にするのにEM菌を入れるんです。そしたら産業課の人がEM菌は「害になるから入れないように」と言って、一階の環境衛生では「どんどん使ってくれ」と言うし。

《市長》

EM菌のことですが、非常に一生懸命に取り組んでいただいている所がありまして、こういう風に綺麗になったと市の方に持って来てくださったりもしています。かたや市の方の部署が専門の方に研究で依頼を出したり、児島ではないんですが、市の持っている池の実験を2、3年で試みたことがあるんです。そしたらその実験ではあまり効果が出なかったんです。それでEM菌については、市として全面的に進めますとはなかなか言えない状況にはあるんですが、いけないとはもちろん思わない。効果が上がっている所もあるわけですので、取り組みをしていただける団体の考え方と、後それが学校のプールだったら学校と一緒に地域のみなさんが了解して協力してやってくださるのか、取り組みのやり方によって左右されると思っています。なかなか良いか悪いかと言われると非常に白黒難しい所があります。私はただ個人としては効果があるんじゃないかと思っているんですが、はっきり市として効果があるという所までは行っていない状況です。各学校で取り組みをしていただいている所、効果が上がっているような報告も受けていますが、また聞いてみます。産業課と環境とで言っていることが違うんですね。

《市長》

いろいろお話を伺いたいんですが、観光のことで、ジーパンのことや鷺羽山のことや王子が岳のことで、ジーパンのことと言えば、今週の金曜日に上海万博で倉敷市のジーンズのファッションショーを行うことになっております。倉敷のファッションカレッジというファッションの専門の学校が協力をしてくださいまして、児島のジーンズの生地をいろいろいただいて、加工してドレスやジャケットにして持って行って、上海万博で発表をしてくれることになっておりますので、ジーンズのこと等も含めまして、観光のこと等何かご意見がございましたらお願いしたいと思います。

《参加者Bさん》

今、観光と企業PRのようなことでお話を伺っているんですけど、ジーンズでPRしてどれだけ雇用が定着したのかというのが一つと、本荘地区だけの話ではありませんが、倉敷市には水島コンビナートという大きな企業がたくさんあります。でも本荘地区の人たちが、中身を知らない人たちがたくさんいらっしゃるんじゃないかと。水島コンビナートの中で石油であり造船であり自動車であり食品であり、いろんな分野がたくさん入っているのはこの地区しかないと思うんです。これを見学して観光とタイアップして全国にもPRする。そうすれば全国からも雇用の場が生まれるんじゃないかと。

もう一つは地元の人たちが、ここにはこういう仕事があるということがよく知られるんじゃないかと。そうすれば倉敷市から他の県や市へ働きに行かなくても倉敷市で働けるようになるんじゃないかと。というのが、やはり地元から出る方が結構いらっしゃるんです。これだけ大きな産業、雇用の場があるのに、PRが足りないんじゃないかと思っています。倉敷市としてPRしていただけたらより効果的だし、住民たちも元気になると思います。

人が多くなければ元気が出ないと思うんで。少なくとも人にここに来なさいではなく、いる人がここに住める、働き口のある環境を考えていただけたらと思います。

《市長》

倉敷市の最大の働く人口が密集している所はもちろん水島コンビナートでございます。言われるように、もちろんコンビナートの企業で働いている人は、コンビナートはこういうものだと普通に思っていらっしゃるかもしれないですけど、他の地区で違う仕事に係っている方は親しみがなくてよく知らない方もいらっしゃいます。水島コンビナートは日本でも有数のコンビナートですけど、先日新聞を見てくださった方がいらっしゃるかも知れませんが、今水島の港を国の中で大変重要な港として認定してもらえるような運動をしています。と申しますのが水島の港はもちろん、この一帯のすべての工場の所を含めて、特にこの近くで言えば小田象さんとか飼料・穀物がありますけど、瀬戸埠頭さんとか、この地域に上がっている穀物がありますよね。その量は全国で二番目に多いです。全国一番は千葉県の鹿島が東日本の全体の穀物とか食料の供給、源の輸入をしてきて、そこから全国へ食べ物が流通します。西日本ではこの瀬戸埠頭ですので、すぐ近くに小田象さんがありますが、そこから西日本全体に大阪も含めて穀物が行っています。もう一つは鉄鋼石の輸入が倉敷市の水島コンビナートの地域には、JFEさんがあるのももちろん一番で、二番が福山さんになっております。全国で一番と二番の輸入のもの、それも食べ物の関係のもの、それから鉄、家を造るのに必要なものがこの港に来ていて、それを作ったり流通していることがあんまり知られていないんです。それから石油化学、自動車、鉄鋼を始めとして本当に多くの企業があることを、確かにもっとPRをした方がいいと思います。水島コンビナートの皆さんたちも今少しずつ勉強会という形で、PRをしようという気運がだんだん生まれて来ているんですが、まだまだ少ないように思いますし、倉敷市としても地域に就職をしてもらうのは非常に大切なことなので、PRをしっかり頑張っていきたいと思いますし、市民のみなさんからのこういう意見を水島コンビナートの企業の会議がありますので、しっかり言って伝えたいと思います。

《参加者Cさん》

やはり交通のアクセスが非常に悪くなってきていると思います。倉敷の駅から観光地を案内するバスが出るとか、京都なんか何本もありますよね。途中でも乗り降りできる、観光客をメインの所へと運べるようなアクセスを十分に何とか考えて行ったらいいと思います。

《市長》

現実としては下電さん、両備さんを始めとしてバスの路線が今非常に縮小されてきているのも事実です。市からは一生懸命残してください、何とか延命してくださいと言っています。ただ、京都とか名古屋のように市内を縦横無尽にバスが走っている状況にはなっていないし、なかなか難しい。これは市内のどの地区も一緒です。倉敷の駅前の地区も玉島地区もそうです。これからの健康長寿社会では運転をご自分でされない方も多くなってくると思いますので、なんとかする必要があると思います。よく両備の社長さんが言われるのが、金額は忘れたんですが、今の高速道路の無料化を民主党さんが公約にされています。

そのお金の確か半分か何分の一かのバス業界の補助金があったら全国のバスを全部無料でできると説明を聞いたことがあります。もちろん一つの市だけではなかなかできない話ですが、倉敷市からも国の方に対して、特にバスを中心とした、それから、児島の地区でも乗り合いタクシーを行ってくださっていると思うんですが、交通アクセスの面にこれからは力を入れていく時代だと、今のお話をお伺いしまして実感しました。しっかり取り組みたいと思います。

《参加者Dさん》

「鷺羽山の景観」と「海を活かした連携へ」の2点について質問させていただきます。まず第1点の鷺羽山の景観についてですが、市長さんがおっしゃられましたように鷺羽山は昭和9年に国立公園になったということで、その折に鷺羽山と小豆島と屋島と鞆が一緒になったわけです。その鷺羽山が今本当に景観が失われつつあります。鷺羽山のシンボルである鐘秀峰という頂上が有名ですが、今樹木で覆われてジャングル化している状態なんです。本には360度の眺望と三角錐の峰が今まで宣伝されて大変有名でしたが、今はこんな状態になっていますので大変心配しています。もう何年か先には木で覆われて埋もれてしまう気がしていますので、早急にこの対策をお願いしたいと思います。

《市長》

鷺羽山の周辺の整備のことについてご質問をいただきました。この鷺羽山については、私は倉敷市内の中で本当に景観がいい隋一（すゐいち）の場所だと思います。今倉敷市として取り組んでおりますことですが、これは私の公約といえますか市長になる前の考えでもあったんですが、エレベーターをつけるんじゃなくて、鷺羽山の整備をしようと検討をしていたわけです。今どこまで進んでいるかと言いますと、レストハウスの所の整備が今年、昨年度と少し進みました。レストハウスの部分について、これまで環境省から倉敷市が聞いておりましたのは、木を一本も切ってはいけないと言われていたと聞いておりました。ところが、何回も環境省の方に交渉をしてもらった結果、もちろん環境省も見に来るわけですが、地元のみなさんと市と環境省としっかり見て合意ができれば、ある程度は切ってもいいと返事をいただいております、まだまだ不十分だとは思いますが、21年度に鷺羽山のレストハウスの辺りの所を少し剪定をしました。

Dさんに言っていただきました鐘秀峰ですが、一番てっぺんの所まではまだ行っておりません。ただ平成22年度の予算で金額がまだ非常に少なくて恐縮なんです、数千万円の金額を鷺羽山の整備の金額に当てております。その中で今年は環境省の方と、鷺羽山のレストハウスの方からもっと上の方に行く部分を、パンフレットでは360度眺望と書いてあるのが全然できなくなっていますので、いっぺんに綺麗な眺望というわけにはいかないですが、近年で初めて少し鐘秀峰の周辺の木を切って見やすいようにするのを今年度中に進めて第一歩でやってみたいと思います。一本松が鷺羽山の風景の象徴的なものですので、そこも今後手入れをすることを、今年度でできるかどうかは分からないんですが、レストハウスから上に上がって行ったビジターセンターの所も県からもらって活用できるようになりましたので、本当に倉敷市の大切な観光資源だと思っていますので、頑張りたいと思っています。

《参加者Dさん》

市長に写真を見せたいんです。昭和9年頃当時の鷺羽山で、75年前の国立公園制定当時の写真です。願わくばこういう風にやっていただければという気もしています。

これは環境庁の70周年記念の折に環境庁に貸した覚えがあるんです。

《市長》

今後鷺羽山の整備をする時の参考にする時にまた貸していただいたり、こういう究極の目標を目指していこうと思います。

《参加者Dさん》

もう一点「海を活かした連携へ」ということで、8月19日に香川県三豊市で5つの市の市長が集まってサミットを開きました。広島は福山市、愛媛県は新居浜市、三豊市、高松市、岡山県は瀬戸内市です。倉敷市は岡山県の有数の海岸線を占めますし、ぜひ倉敷市もこれに参加してお互いの市の情報を集めてもらいたいと思います。福山市はこれから鞆が埋立等、賛成と反対の両派が今話し合いをしています、おそらくいいように解決したら世界遺産に提出するんじゃないかと思っています。その折に鷺羽山と瀬戸大橋も世界遺産に両方で、県超えでも今できるようになっていますので、考えていただきたいと思います。

それから新浜は、別子銅山の発祥の地です。新居浜市が住友財閥の別子銅山の廃鉱跡を「東陽のマチュピチュ」というインカの空中都市の名前をつけて売り出したんです。そしたら今ものすごい人が来ているんです。瀬戸内市は牛窓を「日本のエーゲ海」と付けまして、そしたら違うんです。だから「鷺羽山」だけではちょっとつまらないのでいいのを思いついたんです。あそこは海拔133メートル、ずっと視界が360度見えます。あそこを「日本のピラミッド」という名前で。クフ王のピラミッドというのは高さ138メートルくらいです。鷺羽山は133メートルですから、ほとんど高さは同じなんです。それから前に大槌という島があるんですが、あれも日本のピラミッドなんです。あれが170メートルくらいです。それから瀬戸内の下津井大橋が148メートルくらいですから、あれもピラミッドの形です。鐘秀峰のそういう古墳もありますし、あの辺に遺跡もあるんじゃないかという気もしますので、鷺羽山を売り出すために一つ今までと違うネーミングを付けたいという気もしています。

《参加者Cさん》

以前から地元で考えているのですが、「鷺羽山を守る会」が、昔鷺羽山駅というのがあったんです。風の道からずっと行きまして左手の辺に大駐車場があったらいいと思います。あそこでお客を降ろして展望へ上がって、下の駐車場に帰ってくる。下の駐車場も本当に樹木が大きくなりすぎて景観が悪いです。全く先ほどの方と同じ意見です。この構想は以前から言っているんですが、なかなか実現しないです。

《市長》

海で三豊市の5つの市の話。私も新聞で見まして、すぐ観光の担当部署に瀬戸内海で5つの市が集まっているのに何でうちが入っていないのか聞いたんです。そしたらヨットハ

ーバーがある所の市で組んでいるので、うちは入れなかつたらしいです。無理やり入れてというのが出来るのか分らないですけど、今後参加市を拡大するお話があるようなら、ぜひ入れてくださいと言っていこうかと思っています。今の所は倉敷市で仲良く瀬戸内海のまちで組んでいるのは、神戸さんと鳴門さんと金毘羅町と倉敷市で「瀬戸内4都市」でやっているんです。これは観光でJRさんも組んでやっているのもあるんですけど、私ももっと他にもあればと思っているので。

《参加者Dさん》

金毘羅と神戸と鳴門ともう一つ重要な所があるんじゃないかという気がしています。それは坂出です。瀬戸大橋の南側は坂出、こちらの方は倉敷でしょう。交流がないのはちょっとおかしい気はしています。

《市長》

坂出が倉敷も含めて4都市の中で観光の面が、どっちかと言うとコンビナートとか工場が結構表に出ているので入られてないのかと思ったんですが。

《参加者Dさん》

坂出の市長さんは綾さんという方なんですけど、自分で観光の会長になっていますので、ぜひ坂出とコンタクトを取って。お互いに今まで交流がないんですから、これから交流があるようにお願いします。

《市長》

児島から坂出に橋が架かってるという。鷲羽山の売り出しで、また違う名前の「ピラミッド」というアイデアもいただきました。また売り出していくいろんな方策の中の一つにどういう売り出し方というのも考えていきたいと思います。

《参加者Eさん》

瀬戸大橋ができて20年、工事を入れたら30年になるんです。瀬戸大橋をよく見ると、列車が通る所に工事用の通路があるんです。列車や車じゃなくて、昔から人が通るためにできたのが橋だと思っているので、せっかく素晴らしい橋ができていますので、工事用の道路は70センチか1メートルらしいんですが、整備して一方通行で坂出の方が歩いて児島へ、児島の方が歩いて時間がある方は坂出へ。15キロくらいありますので。工事用の通路をできれば、坂出の方と市民交流ができそうに思うんですけど、いっぺん検討をお願いできれば嬉しいです。

《市長》

倉敷市の方からも瀬戸大橋を、確かこの前の20周年記念の時も歩くというのをやったと思うのですが、倉敷市としてはもっと頻繁に瀬戸大橋を歩いたりできるようにとか、工事用の上に上がれたりするのをたまにやってくれるので、もっと頻繁にやってもらいたいと思っています。ただ、危ないんじゃないかと。

《参加者 E さん》

それは整備していただいて、一方通行でぶつからないですから安全だと思います。もう一点、子どもさんが新学期始まりましたけど、真っ黒な子と真っ白な子がいるんです。やっぱり山も知らない、川も知らない、海も知らない方が多いみたいで、やっぱり児島には素晴らしい観光港があるんです。あの観光港も児島の駅前も寂しいです。その観光港で夏だけですが島をお借りしてキャンプ場を作ってキャンプ場で音楽キャンプ、学校関係のブラスバンドとか鼓笛隊とか、香川県と岡山県と両方の学校のみなさんが行き来して、一晩ほどこの学校と決めて、1ヶ月間「音楽キャンプ」という形のを本当に盛り上げて、夏です。そうすれば観光港も生きるし、香川、坂出の方とも交流ができるという感じで、ご検討お願いできたら嬉しい。

《市長》

私も東京から友達が来ると大原美術館はもちろん見てなかったら見た方がいいよと言うんです。それともう一箇所必ず言うのは「時間をぜひ作って観光港から1時間ほどだから、乗ってもらいたい」と言うんです。あそこは本当に素晴らしい所だと思います。今年初めてなんですけど、夏に子どもさんたちが親御さんと松島に行って、スケッチをすることを市の企画で初めてやったんです。そしたら大変好評いただいて、まず市の中のみなさんがよく倉敷市の島のことを、景観が綺麗だと知ってもらってよかったと思うんですが、そういうことをもっと進めていければという思いではおります。

《児島支所長》

今年、公民館とタイアップしまして市内の子どもさんを集めて親子で松島へ渡って瀬戸大橋の絵を描いていただいて、その後六口島へ渡って六口を見てもらって、大変好評でした。今回は一回だけで一船だけでしたが、だんだんと大きくなれるのなら2隻で行ける形で将来考えていただきたいと思います。

《参加者 F さん》

トライアスロンの件で、今まで主催は児島商工会議所で行ってきて、市が直接は関与していませんでしたが、補助金としては市の方から出されていたと思います。10回で終了して倉敷でシティマラソンを行うということだったんですけど、それもいろんな状況でできないのもう一度トライアスロンをやるということですけど、トライアスロンの選手、競技者は歓迎されていると思うんですけど、今までと全く同じことをやるのでは意味がないんじゃないかと思うんです。その辺り考えていただくのもう一つ、プールで子どもたちがいろいろ水泳を習うんですけど、50メートルプールで秒を競うだけが水泳じゃなくて、水泳の大きな意義は命を守るということで船が転覆するとかいろんな災難の場合に長時間水に浮いて救助を待つ。これが一番水泳の根本であると思います。そういう面で日本古来からの遠泳があるわけです。遠くまで泳ぐという競技ですけど。太鼓を打ち鳴らして、ドンドンと。鹿児島とかいろんな所で、岡山でも旭川でやっているようなんですけど。市長さんの「子育てするなら倉敷で」ということを盛んに聞いております。1歳から20歳を子どもと言うんじゃないかと思うんです。今まで子育てするならば言えば5歳くらいまでの子どもに特に力を入れられていたんじゃないかと。20歳くらいまでずっと

何歳には何があり、何歳には何があるという中で、倉敷独自の島を活かした、今倉敷にも松島や、本来は豎場島ですけど、くじら島というのがあるんです。上には王子が岳という景勝の地がありますし。唐琴に県の養浜事業が完成したんですけど、完成記念として銘を打って、最初はささやかなものでいいですけど、それが大きく育って倉敷の名物といえますか、あの島までおじいさんと一緒に泳いだんだという何歳になっても思い出ができるようなことで。トライアスロンは選手の出場料が一人2万円くらい要るんです。自転車も要るし、ウェットスーツも要るし、ある程度選抜された、資格を持った恵まれた方たちの競技なんです。「子育てするなら倉敷で」という面からも遠泳、二十歳ぐらいまでずっと長い年齢の間に子どもを育てる倉敷にさせていただけたらと思いますので、単なる願いとしておきます。

《市長》

海で泳ぐ、海の振興という面で、児島の地域では、大きくは県でしてくださった部分で昨年度完成したんですが、唐琴の浜の養浜事業がございます。倉敷市内大きく全体を見ますともう一つ、玉島の沙美の海岸がやはり日本で一番最初の海水浴場ということで、あちらの地域の方でもみなさんが海の振興を図ってもらいたいと言ってくださっているんです。今回のトライアスロンのコースを検討してもらっているんですけど、その時に今回は倉敷市の事業になって初めてで、警察とのいろいろな道の協議をする中で今までと違う分に行くことは、なかなか難しいんですが、玉島の方から最初の泳ぐ分は玉島の沙美の海岸で泳いで、自転車で水玉ブリッジかなんかでこっちの方まで来て、走る分は児島の方でできないかと提案をもらっているんです。今年するのは難しそうですけど、市全体のトライアスロンにできればと思っていますのと、言っていた唐琴の浜の活用ですが、沙美の海岸の方も進めていければいいと思っています。まだ具体的にどうできるか県と協議をしたわけではないんですが、昨年度までで何とか唐琴の浜の工事を済ませてもらったのはよかったと思っています。検討はこれからになると思いますが F さんにお話をいただいた海のことについてしっかり力を入れることはよく分かりました。

《参加者 G さん》

観光が海の方に傾いているようですが、私は山間部に住んでいます。去年は婦人会の旅行で美咲町の方の棚田を見学に行きました。近所の方が「そんな遠くまで見に行かなくても宇野津にも棚田がいいのがあるじゃない。大勢写真を撮りに来られてますよ。」と言われたんです。地元も見直さなければいけないと思いました。そこは狭いんですけど、コンビナートの見える棚田で大勢来られているので、もう少しPRしていただきたいと思います。

《市長》

写真を見たことがあります。その写真は確かライカ同盟といまして、その中に赤瀬川原平さんと秋山祐徳太子さんと高梨（高梨豊）、3人大変有名な方がいらっやいまして、一般の方が倉敷市内ですごいと思う写真を撮られて応募されたものを選んだ中の一つに入っていました。非常にその写真もよかったんですけど、市の今後のPRの中でもしっかり使わせていただきたいと思います。

観光のことばかりじゃなくて、地域でこういう活動をしているので、ぜひ他の地区の参

考にしてもらいたいことがあったら、私がお伺いできれば他の地区の方の方たちにもお伝えをして参考にしてもらえるようにしたいとも思うんですが、いかがでしょうか。

《参加者 H さん》

私は交通関係の仕事をしておりまして、今の所児島地区は死亡事故が一件ですが、児島地区に自動車教習所がないんです。なかなか啓発活動に場所がないものですからできなくて、交通公園があったらいいと思ってるんです。警察署の方にもたまたま保育園や幼稚園、小学生が見学に来られるんです。遠足の時にはナンバの前にある味野公園でお弁当を食ったりするんです。児島は支所の方に優秀な指導員が2名おりまして、私も安全協会の方で高齢者の交通指導員をしておりませんが、指導員の方には恵まれていると思っています。小学生、幼稚園の子どもたち、できれば高校の自転車マナーが悪いので公園の中に整備をしていただいて、見通しの悪い交差点とか、ちょっとしたものを端に造っていただくことで啓発活動ができるのではないかなと思って、お願いに参りました。

《市長》

交通公園は玉島にもあるんです。玉島では地域のみなさんから交通公園を廃止する要望が出ておりましたように記憶を……。まだ決まったわけではないんですけど、交通公園でしばらく使っていて、やっぱり普通の公園にした方が使い勝手がいいという声を結構伺っております。

本当に交通の安全を教えることは大切だと思います。交通公園として整備する場合にはどのくらいものが必要なのかも調べてみないといけないと思います。

《参加者 H さん》

大掛かりじゃなくて、遊具の側の散歩道をうまくちょっと変えるくらいで十分だと思うんです。保育園、幼稚園、小学校とかが見学に来た後、ここをちょっとこうしましょうとか。

《市長》

例えば味野公園とかの一部に造って見たらということですか。

《参加者 H さん》

そうです。スペースはあるんじゃないでしょうか。遊具はそのままになっているので、弁当を食べながらしばし30分程度勉強するのはいいんじゃないかなと思います。

《市長》

まず交通公園に必要な要件を調べてみたいと思います。また交通安全の会のみなさんや優秀な交通指導員の方にも相談をしたいと思います。

《参加者 I さん》

市長さんがおっしゃられた「子育てするなら倉敷で」ということであれば児島の市民病院の産婦人科ですか、児島の市民が安心して子育てができる環境作りをしていただけたら。

これは市長さんが市長就任以来の懸案でもあると思うんですけど。それと先ほど観光やいろいろ話がありましたが、その中でやはりCさんがおっしゃられたアクセスの件とか、貴重な意見が出ておりましたので、しっかりやっていただけたらありがたいと思うんですが、まず市民病院の産婦人科の件をどういう形であるかお尋ねしたいと思います。

《市長》

市長就任以来、大変力を入れて大きく取り組んでいる大きな一つが市民病院のことです。市長に就任した時は岡大さんからもほとんど見放されておまして、一番まずかったのは内科の先生が離れてしまったことで、内科がしっかりしていないと他の科があっても何もできないということだったので、とにかくまず内科を立て直してもらいたいとお願いをして、今やっと安定的に来てもらえるようになり、本当に順調に回復をしてきて、地域のみなさんも市民病院の木の剪定とか草取りとか一緒にしてくださって、本当にありがたいと思っております。Iさんが言われるように、最終的な私の希望は産婦人科の復活で、岡大病院に行く度をお願いをしているんですが、今の所の見込みではすぐにそう簡単には難しいような返事がいつも返ってきます。特に内科は全体の人数も多いということで、内科の教授、岡大の病院長がその気になってくれれば、ローテーションでこちらの方に少し配置をすることもできやすいらしいんですが、産婦人科はそもそもなる先生の数が非常に少なくなっているということで、岡大さんも困っていらっしゃるのが現状です。私が一つ思っているのはうちの市民病院に助産師の方たちがいますので、何かうまい方法を使って、ある程度の所までは市民病院の助産師さんで、もちろん助産院で産まれる方もいっぱいいらっしゃるわけですから、そういう方向の検討もできないかと思っています。もちろん最終的な目標は元のように来てもらえるように、これからも粘り強く頑張っていきたいと思っております。

それから交通のこと、子どもさんのこととかいろいろありまして、しっかり頑張るようには言っていただきまして、ありがとうございます。今日のような会を通じまして、風通しのいい倉敷市政を目指して行きたいと思っております。みなさんがどこが重要だと思ったださっているかをお聞きすることによって、これからの市の中での方向をいろいろ決めていく時の一番大きな参考になると思ってこのふれあいトークを開催したり、いろんな行事に参加させていただいたりしておりますので、これからもよろしくお願い致します。今日は本当にありがとうございました。